

石川町 議会だより



No. 197

平成30年12月1日

発行/石川町議会
編集/石川町議会広報
編集特別委員会

▲いっぱい練習したよ。(第二保育所運動会「ようこそ日本へ」)

2018

9月定例会

P2 9月定例会 審議結果

P5 紙上中継(各常任委員会)

P6 9月定例会 一般質問
(町政をたず)

P12 あれからどうなった?
(一般質問のその後は)

P14 各種調査報告、政策提言に向けて

どう使われたのか



平成30年9月定例会は、9月27日から10月5日までの9日間の会期で決算審議を中心に開催されました。
はじめに、平成29年度健全化判断比率の報告があり、一般会計・特別会計及び水道事業会計の決算を審議、そのほか条例の一部改正や補正予算、人事案件、請願、議員発議を審議し決定しました。
一般質問には6人の議員が登壇し、55人の傍聴者がありました。

平成29年度 会計別決算審議

(万円未満は四捨五入)

会計別	歳入	歳出	歳入歳出差引額	採決	賛・反	
一般会計	78億1,817万円	75億9,843万円	2億1,974万円	認定	全員賛成	
特別会計	国民健康保険	21億3,592万円	20億534万円	1億3,058万円	認定	全員賛成
	後期高齢者医療	1億7,018万円	1億6,912万円	106万円	認定	全員賛成
	介護保険	17億2,213万円	16億9,898万円	2,315万円	認定	全員賛成
	母畑財産区	1,875万円	38万円	1,837万円	認定	全員賛成
	中谷財産区	1,483万円	77万円	1,406万円	認定	全員賛成
	土地開発事業	1,183万円	352万円	831万円	認定	全員賛成
	宅地造成事業	1億664万円	1億122万円	542万円	認定	全員賛成
水道事業会計	剰余金処分	消費税及び地方消費税を除く利益剰余金6,422万円は、建設改良積立金に積み立てをする		可決及び認定	全員賛成	
	収益的収支	3億6,761万円	3億339万円			6,422万円
	資本的収支	1億374万円	2億4万円			△9,630万円

(水道事業会計における、資本的収支の不足分は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額及び建設改良積立金で補てんした)

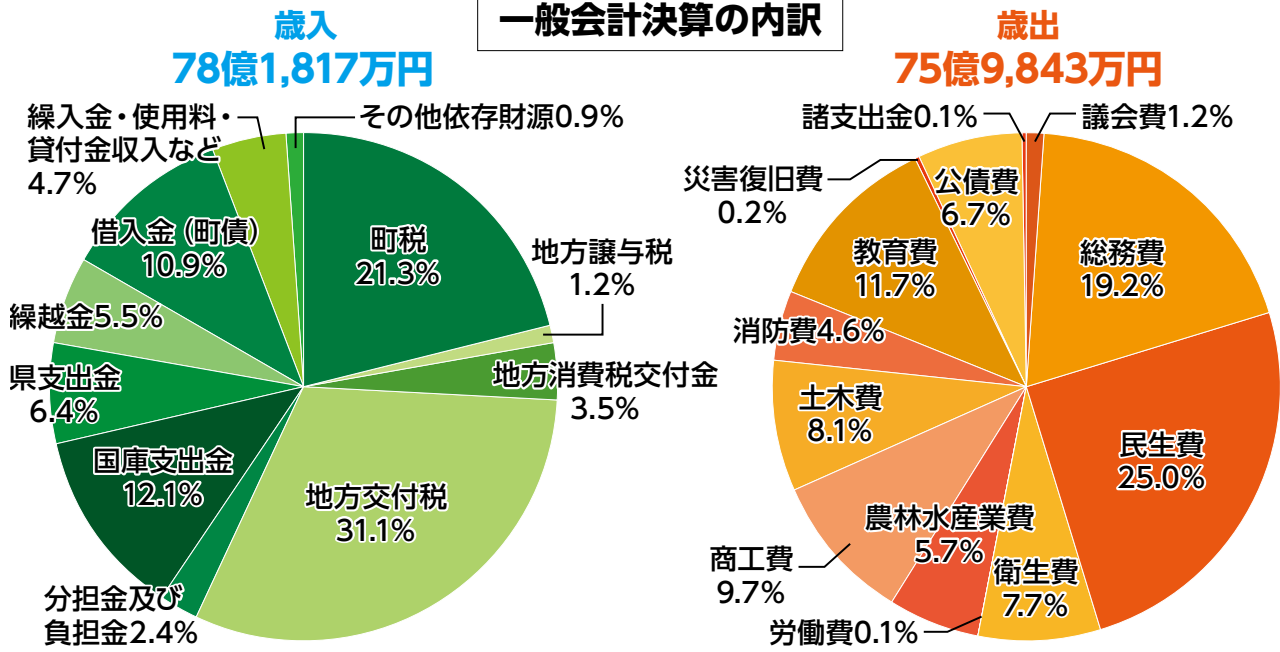
平成29年度主な事業

- ◆ 文教福祉複合施設整備事業
 - ◆ 野木沢小学校校舎耐震補強・大規模改造事業
 - ◆ 町営住宅(下泉団地)建設事業
 - ◆ 子育て応援事業
 - ◆ 石川消防署用地整備事業
 - ◆ 旧沢田中学校改修事業
 - ◆ 旧役場本庁舎跡地整備事業
 - ◆ 鈴木家主屋整備事業
 - ◆ 道路新設改良事業
 - ◆ 水道石綿管布設替工事
- その他、さまざまな事業に使われました。

29年度 一般会計

総額115億円は

一般会計決算の内訳



平成29年度石川町健全化判断比率について(報告)

区分	早期健全化比率	平成28年度(参考)
①実質公債費比率(3年間平均)	5.3% (起債の許可が必要18.0%) (早期健全化基準25.0%)	6.1%
②将来負担比率	18.6% (早期健全化基準350.0%)	16.3%
③実質赤字比率	黒字決算のため算定なし	—
④連結実質赤字比率	黒字決算のため算定なし	—

*①元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模を基本とした額に対する比率
 *②将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模を基本とした額に対する比率

平成29年度石川町資金不足比率について(報告)

区分	資金不足比率
水道事業会計	資金不足がないため算定なし
宅地造成事業特別会計	資金不足がないため算定なし

決算審査報告

代表監査委員

南條 一夫

近内 雅洋

監査委員

近内 雅洋

【審査結果】

平成29年度決算審査は、水道事業会計を2日間、一般会計及び特別会計などを7日間審査しましたが、各会計とも決算の根幹については適正に処理されておりました。しかし、予算の流

用や予備費の充当その大半が、やむを得ないものと認められましたが、流用金額は前年度比較で倍増しており、前年度に比べて悪化しました。また、収入未済額については原因等を的確に把握し、納税・納入についての適切な指導を行うとともに、収納体制をさらに強化し、収入未済

額の圧縮に向けて一層努力されることが望まれます。町の財政状況については、地方公共団体財政健全化法に基づく実質公債費比率は前年度に比べた一方、将来負担比率は前年度に比べ悪化しました。早期健全化基準を大きく下回っていることを確認しました。【審査意見】

財政状況を示す数値が、一定の水準を保ってはいるものの、町税、地方交付税、各種交付金等の減収等により、財源確保が一段と厳しくなることが予想されます。今後とも健全な財政運営に留意しつつ、町民ニーズの変化や時代の要請に的確に対応し、町民福祉の向上に寄与されるよう望むものです。

議案・請願・発議 審議結果

議案番号	議 案	審議結果
議案 第49号	石川町老人デイサービスセンター条例の一部を改正する条例	可 決
議案 第50号	石川町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可 決
議案 第51号	平成29年度石川町一般会計歳入歳出決算認定について	認 定
議案 第52号	平成29年度石川町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
議案 第53号	平成29年度石川町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
議案 第54号	平成29年度石川町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
議案 第55号	平成29年度石川町母畑財産区特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
議案 第56号	平成29年度石川町中谷財産区特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
議案 第57号	平成29年度石川町土地開発事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
議案 第58号	平成29年度石川町宅地造成事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
議案 第59号	平成29年度石川町水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	可 決 及び認定
議案 第60号	平成30年度石川町一般会計補正予算（第2号）	可 決
議案 第61号	平成30年度石川町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可 決
議案 第62号	平成30年度石川町介護保険特別会計補正予算（第2号）	可 決
議案 第63号	平成30年度石川町宅地造成事業特別会計補正予算（第1号）	可 決
議案 第64号	平成30年度石川町水道事業会計補正予算（第1号）	可 決
議案 第65号	消防ポンプ自動車購入契約の締結について	可 決
議案 第66号	小型動力ポンプ（B3級）付積載車購入契約の締結について	可 決
議案 第67号	石川町教育委員会委員の任命について	同 意
議案 第68号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	適 任

議案番号	請 願 ・ 発 議	審議結果
請願 第 9 号	水道民営化を押し進める水道法改正案の成立に反対する請願	採 択
請願 第10号	トリチウムを含む汚染水の海洋放出を行わず、安全な陸上保管を求める請願	採 択
発議 第 9 号	水道民営化を押し進める水道法改正案の成立に反対する意見書	可 決
発議 第10号	トリチウムを含む汚染水の海洋放出を行わず、安全な陸上保管を求める意見書	可 決

総務産業建設常任委員会



▲石綿セメント管の更新作業

Q 浄水場の現状は
どうなっているのか。

A 一般質問でも答

弁しましたが、平成
11年に浄水場施設診
断業務を委託してお
ります。報告では、
沈殿池、ろ過池等の
鉄板部分の腐食が進
行し、数年後には腐

食による損傷の恐れ
があるとの内容にな
っております。

現在、大規模改
修が難しいことから
損傷部分を見つけ次
第、修理を行い運転
しているのが現状で
す。

Q 石綿セメント管
の継続的更新事業は
必要でないか。

A 平成29年度まで

の更新率は、総延長
2万4千858mの
うち、更新済みが、
1万6千312mで、
進捗率65・6%、残
り延長の概算事業費
は、約4億6千8百
万円とみています。

今後、浄水場等の
大規模事業が着工さ
れると、従来のように
更新事業に予算を
計上することは難し
くなりますが、更新
計画を見直し、早期
に更新が完了するよ
うに、事業を進めて
いきたいと思えます。

文教厚生常任委員会

野木沢小学校校舎耐震補強・ 大規模改造工事が完成しました

昭和55年に建築さ
れた野木沢小学校の
校舎を、国の定めた
耐震基準を満たすた
めに、平成28年度か
ら2カ年をかけて、
耐震補強はもとより
老朽化が進んでいた
施設・設備の更新を
図る大規模改造も併
せて実施いたしました。

すっかりきれいに
なった校舎で、子ど
もたちは今日も元氣
に学校生活を送って
います。

鉄骨ブレースや耐
震スリットの設置に
より耐震性能を向上
させるとともに、校
舎内外の全面的な改
修、機械設備の更新、
トイレの洋式化など
を行いました。



▶改修された野木沢小学校

Q 病院誘致について

A 委員会等を立ち上げて検討していく



小木 芳郎 議員

質問 今後どの様に取
り組むのか、考えを伺
います。

答弁 町内に入院でき
る病院が無いことへの
不安の声を聞くなか、
近隣の病院から拠点を
移したいというお話を
頂きました。当該病院
がどのような形で移転さ
れるのか協議を進め、
町はどの様に受け入れ
るべきかを委員会等を
立ち上げて検討してい
きます。

**Q 道の駅構想に
ついて**

**A 開業ができるよう
進めたい**

質問 近隣の道の駅と
の差別化を伺います。

答弁 価値観の多様化
により、個人的で面白
い空間が望まれる事か
ら、日本三大鉱物の産
地を生かした資料や町
内の桜谷、温泉へのア
クセスポイントとして
町外へアピールを行い、
大人だけで無く、子供
が遊ぶことのできる環
境整備を図り、近隣の
都市圏からも人を呼び
込む個性豊かな道の駅
を考えております。

**Q 農業、商業、工業の
振興について**

**A 希望の持てる明るい
町づくりを進めます**

質問 どの様にして笑
顔あふれる町にしてい
くのか。農業、商業、
工業の観点から考えを
伺います。

答弁 農業を取り巻く
環境については厳しい

状況にあり、「アグリ
プラン21」を基本に収
益性の高い農業を目指
します。中山間地域で
は、直接支払交付金制
度、多面的機能支払制
度等の活用で農業の振
興を図ります。また、
商業については、働く
場所の新規創出により
「雇用の確保」と商工
会との連携を強化し、
新たな活力を生み出し
ます。次に工業につい
ては、国、県が用意す
る支援策や町の奨励金
制度により企業誘致の
推進と高校生のキャリ
ア教育支援等を継続し
て行い若者の定着と離
職率の低減に努めます。

Q 災害対策について

**A 定期的に見直しを
行い、地域防災計
画を整備します**

質問 年々増加傾向に
ある自然災害について

本町の対策を伺います。
答弁 地域防災計画を
平成25年3月に改訂し、
避難についてまとめた
ハザードマップや千五
沢ダム浸水想定マップ
の配布により周知を図
っております。平成29
年6月には県の「ホッ
トライン」が開始され、
早めの避難勧告等を発
令できる体制を整えて
おります。また、防災
備品についても、常に
補充しながら適切な管
理保管に努め、更なる
防災意識の高揚に努め
て参ります。



▲北町避難場所入口

Q 選挙のときの公約、その重みは

A 責任を持って一つ一つ取り組んでいきます



根本 重泰 議員

子どもたちの声が響く町がいいな…

質問 石川町の現状と課題をどう考えるのか伺います。

答弁 昨年の4月に過疎地域指定を受けました。いかに若者世代を町内に定住させるかが重要であります。

そのためには、雇用の確保が必要あり、企業の誘致は一朝一夕にはできませんので、既存企業の支援育成に努めて参ります。

質問 石川町の5年後、10年後の人口は1万2千人、1万人と推計されているが将来の姿をどのように考えるのか伺います。

答弁 石川町の人口減少は急激に進み、年間200人から300人ぐらい減っております。若者が住宅を建てて石川町に住んでもらうため、住環境を整備していきたくと考えております。

質問 選挙のときの公約、その重みを伺います。

答弁 公約とは最大限努力して実現していくものであり、責任を持って、一つ一つ取り組んでいきます。

病院と道の駅は最優先課題として対応していきます。

Q 病院の移転建設は建設委員会を設置します

します

質問 病院の移転建設の進め方を伺います。

答弁 大変重要であり大切なことだと思っております。副町長を今後早期に任命し、建設委員会を立ち上げ、実現に向けた検討を進めて参ります。

質問 町民との対話の日はいつ頃からか。また、自ら各団体に足を運ぶ姿勢はあるのかを伺います。

答弁 11月から月1回の開催に向け、現在準備を進めております。人の話を聞くというのは民主主義の原点であります。全てできるわけではありませんが、様々な意見を聞きながら町政の中に生かしていくということが大事

なことであると考えます。月に一回やってみて、今後の対応を考えます。

なことであると考えます。月に一回やってみて、今後の対応を考えます。

なことであると考えます。月に一回やってみて、今後の対応を考えます。

質問 若者向け住宅にかかる固定資産税5年間無料についてを伺います。

答弁 人口減少に歯止めをかける手段と考え、早期の実現に努めて参ります。地方税法に基づく減免や補助金として交付する方法などが考えられます。



▲「がんばれー」と叫びたくなります

Q 公正・公平な町政実現に向けての考えを

A 事業計画や執行で公正・公平を保つ



渡辺 実 議員

質問 新町長の町政運営の基本的考え方を伺います。

答弁 開かれた町政、活力ある町政、公正・公平な町政の実現です。

質問 公正・公平な町政実現に向けた考えを伺います。

答弁 事業計画、執行で公正・公平を保つことが大事です。

質問 公約の実現に向けた取り組みを伺います。

答弁 月一度の対話の日を設ける、若者の定住促進、町内企業の育成強化や雇用の支援、

予防接種の無料化、道の駅の建設、産業の再生で人口減少に歯止めをかけます。病院の受け入れは実現に向けて検討を進めます。

質問 病院誘致で「町民に負担をかけない」と発言しているが今の考えを伺います。

答弁 適正な金額で対応します。

質問 「某病院」ありきで検討するのかわかります。

答弁 病院を決めて、検討します。

質問 議会と執行部の関わり方の考えを伺います。

答弁 執行部と議会は車の両輪です。

Q 浄水場

更新整備費は

A 46億3千万円です

◀現在の浄水場



質問 浄水場更新事業の概要と進捗を伺います。

答弁 喫緊の課題であり、基本計画を精査中、場所は大字湯郷渡字前ノ内地内、処理能力は1日7千立方メートルです。

昨年、玉川村と協定を締結し、水道用水供給事業が進めます。

質問 財政計画を伺います。

答弁 施設整備費は46億3千万円です。主な内訳は、自己資金9億4千万円、企業債20億8千万円、一般会計出資金14億8千万円で計画しています。

質問 玉川村との協定で、建設は町が100%、玉川村は利息及び減価償却費の25%負担、当初負担はないのか。企業債のピーク時の金額を伺います。

答弁 28億5千万円です。

質問 建設予定地は災害に大丈夫かを伺います。

答弁 専門家の意見を聞き、設計に取り入れます。

Q 石川中学校の

通学路改良計画は

A 交差点改良整備を

計画している

Q 町道改良率56.1%をどう思うか

A 適正でないと思っている



瀬谷 寿一 議員

● 公約と第六次総合計画策定について

質問 公約とは、公衆に対して政策の実行を約束することでありませう。町長が公約したことの実現を伺います。

答弁 財政負担も伴うため、序列を付けて、段階的に公約の実現に向け取り組みたいと考えております。

質問 総合運動公園の整備を伺います。

答弁 将来的に総合運動公園らしい、質的に良いものをつくりたいと考えております。

質問 故三森たか子先生から寄付をいただき、計画中の鉱物館整備を伺います。

答弁 鉱物館の必要性は、昔からの持論で、あまりお金を掛けないでできる方法を考えております。

質問 第六次総合計画の進捗状況を伺います。

答弁 来年の1月に基本構想の議案を提出したい。約一カ月半の遅れとなっております。

質問 前期5年の財政計画を伺います。

答弁 実施計画は3年間の財政計画ですが、5年も想定されますので、今後の検討とさせていただきます。

● 道路整備計画について

質問 高速道路、国道、県道、町道を有機的に

繋ぐ道路基本計画を策定し、農林道を含む新ルールで町道を整備すべきではないかを伺います。

答弁 道路整備については全くその通りであります。石川町の道路を見ると非常に遅れているというのが私の見方であります。

● 文教福祉複合施設の管理運営について

質問 開館に向けた準備を伺います。

答弁 平成31年4月開館に向けた準備を進めており、1月末の完成を目指しております。12月議会には、施設の設定条例ほか関連条例を提案したいと考えております。

質問 施設管理者の考え方を伺います。

答弁 教育委員会部局から施設長を出し、管



▲ 来年4月オープンに向け工事が進む文教福祉複合施設

理をすることと考えております。

質問 生涯学習センターの事業を伺います。

答弁 専門職員を配置して町民の学びの場となる運営を考えております。

質問 図書館は、図書館法に基づく施設かを伺います。

答弁 その通りです。

Q 県道の歩道、部分補修は県の誤魔化し

A 県に実態を説明し、整備促進を図る



中村孝太郎 議員

質問 新町長は、町政に対する基本姿勢として「公正・公平な町政」を言われました。町政は、障がいのある人も貧困な人にも、すべての町民に公平でなければなりませんし、入札指名なども同じです。公平・公正であるためには町民みんなの声に耳を傾けることです。その上に立って、石川町の現状と今後の移り変わりをどう認識するか、町政に重点、第六次総合計画にどう反映するのか伺います。

答弁 過疎指定を受け、人口減少や産業が振るわない中、税収の伸び

悩みの現状を踏まえ、計画的な財政とバランスの取れた政策を図っていきたいと思います。子育て・防災・定住・移住・交流人口・対話を重点項目として取り組んでいきます。第六次総合計画は、これまでの検討経過、内容の確認の精査を行い、追加・修正を指示し、最終調整を図っております。

質問 町内を通る県道の歩道は痛みが目立ち、土木事務所は全面的にアスファルト舗装に改修することとした。高齢者などには危険ですし、景観上も良くあ



▲改修が進まない歩道

りません。楽しく歩ける県道の歩道改修計画を伺います。

答弁 中心市街地の歩道の老朽化に伴い修繕を実施するもので、現在まで修繕と部分補修が実施されております。

質問 これは納得いかない、県は誤魔化している。全面アスファルト改修が土木事務所の説明でした。「約束通りやれ」と厳しく言うて欲しい。

答弁 全くその通りです。土木事務所や県に実態を説明し、やっていきます。

質問 公務員の障がい者雇用の水増しが明らかにになりました。法を遵守しなければならぬ国や自治体の法律無視に怒りが湧きます。石川町の障がい者雇用の現状と今後の考え方を伺います。

答弁 石川町役場では法定雇用率を上回っております。今後とも共生社会の実現を理念とする障がい者雇用促進法の趣旨を尊重し、対応して参ります。

質問 河川の大腸菌についてですが、夏の暑い盛りにあさひ公園で子どもたちが川遊びをしているのを見て、大腸菌のことが頭をかすめました。町の水質検査では北須川も今出川も大腸菌が水遊びの出来る基準値を超えています。北須川・今出川の大腸菌の原因と対策を伺います。

答弁 家庭からの排水や肥料の使用量などに起因していると推測されます。今後も河川の水質改善を目指し、合併浄化槽の推進や生活雑排水による水質汚濁防止の啓蒙など、河川環境の保全に努めます。

Q 介護職不足の現状と将来見通しは

A 現在は確保されているが将来は不足が予測される



瀬谷 京子 議員

質問 町長公約のうち何を優先しどのような手法で進めるのか。

答弁 当面は病院、次に道の駅と、二段構えで取り組みたいと考えており、副町長をトップに病院建設検討委員会を立ち上げて早急に対応したいと思えます。道の駅についても、効果的な作り方で専門部署を設け、早い時期に対応したいと考えております。

質問 厚労省は2025年に、介護職が全国で約33万7千人不足すると推計した。本県では必要とされる数は約

4万2千人に対し、確保できる数は約3万1千人と見込んでいます。今後の、石川地方の見通しを伺います。

答弁 今後、高齢者が増え若い世代の人口が減るなか、介護職不足が予測されます。

質問 不足する要因は何かを伺います。

答弁 利用者に寄り添い、責任とやりがいのある反面、対人関係特有の悩みや不安も抱きやすい仕事と思われれます。離職者の、復職支援も課題となっております。

質問 施設等では職員が実によくやっついていて頭が下がる。職員の処遇を伺います。

答弁 介護職員改善加算が設けられ賃金の改善が図られております。

質問 専門学校の福祉

コースも定員割れと聞く。人材確保の対策を伺います。

答弁 介護職のやりがいや魅力を感じてもらえるよう啓発して参ります。

質問 県では離職者再就職の準備金貸付原資の補助制度があるが利用する考えを伺います。

答弁 今後必要であれば検討しなければならぬと思えます。

質問 町で介護職員初任者研修（ホームヘルパー資格取得）の実施、研修受講料の補助、奨学金制度等を作る考えはあるのかを伺います。

答弁 実施している市町村もあります。今後、有効な施策があれば検討しなければなりません。高校にも介護福祉科がいくつ必要になってく

るのかと考えております。

意見 超高齢社会となり、需要があつて介護サービスが受けられないでは困ります。介護予防事業を含め、早急に対策を考え、地域ぐるみで福祉に対する思いを共有できる環境づくりを要望します。



▲さくら荘の様子

藤沢工業団地誘致企業 (株)エヌ・ティー・エス

●平成31年中には操業開始するとの説明だったが、その後の進捗状況は。

●現在、社屋の設計を精査しており平成31年に建築工事を着工し平成32年中頃に操業を開始する予定です。

■ 超精密金属部品加工を手掛ける会社です



▲マシニングセンターによるアルミからの削り出しエンジンブロック

航空機、自動車、オートバイなどの試作段階の部品を製造しています。高い技術力(精度)が求められ、国内はもとより海外からも注目されています。

■ 代表取締役社長 生田目将弘氏 (談)

精密金属機械加工サプライヤーとして、加工技術の向上と人材育成に努力していきたい。縁あってオートバイの世界グランプリに挑戦できる機会に恵まれました。選ばれる会社として認知度を高め、ここ福島から日本そして世界に向けて情報を発信していきたい。



あれからどうなった？

一般質問のその後は

平成29年9月定例会より

交通不便地域解消のための「生活交通支援策」について

●交通不便地域の支援を行う施策として、デマンド型乗合タクシーなど、地域の実情に合った新たな交通体系の構築を想定しているとの答弁だったが、その後の進捗状況は。

●公共交通不便地域の解消を目的として、平成30年11月1日より、12月28日までの2ヶ月間で、沢田地区において、デマンド型と呼ばれる予約型の乗合タクシーの実証実験を行います。

併せて、

石川駅、石川町役場、福島交通石川営業所の3拠点を經由し、町内を循環するバスの実証実験も11月1日から翌年1月31日までの3ヶ月間で行います。

2つの実証実験結果をもとに、石川町における新たな生活交通の再編、見直し



予約型乗合タクシー

を検討していく予定です。

◆ 沢田デマンド交通 ◆ ◆ キララまちなか循環バス ◆

運行時刻・乗降場所一覧

平成30年11月1日(木)~12月28日(金)運行!!

片道 **500円**
均一運賃

凡例

- 鉄道
- 鉄道駅
- 既存バス路線
- 運行エリア(北エリア)
- 運行エリア(南エリア)
- 乗降ポイント(北エリア)
- 乗降ポイント(南エリア)
- キララまちなか循環バス
- キララ右ルート
- キララ左ルート
- キララ乗降ポイント(右ルートのみ乗降可能)

時刻表

	1便	2便	3便	4便
磐城石川駅発	7:50	9:30	13:30	14:30

運行曜日 (祝日を除く)

北エリア	火・金
南エリア	月・水

一日乗り放題 **300円**
均一運賃

乗継ぎポイント

右まわりルート (主な停留所)	1便	3便	5便	7便	9便
磐城石川駅 発	8:40	10:20	12:55	14:40	16:45
石川町役場	8:45	10:25	13:00	14:45	16:50
石川営業所	8:51	10:31	13:06	14:51	16:56
磐城石川駅 着	9:00	10:40	13:15	15:00	17:05

左まわりルート (主な停留所)	2便	4便	6便	8便
磐城石川駅 発	9:20	11:00	14:00	15:30
石川営業所	9:29	11:09	14:09	15:39
石川町役場	9:35	11:15	14:15	15:45
磐城石川駅 着	9:40	11:20	14:20	15:50

※沢田自治センターは南北ルートどちらでも利用できます。

常任委員会 所管事務調査

総務産業建設

「道の駅調査」

総務産業建設常任委員
会では、政策提言に向け
た調査・研究など、今後
の委員会及び議会活動の



▲道の駅ひたちおおた



▲道の駅米沢

参考とするため、先進自治体が設置している「道の駅の運営状況」について所管事務調査を行いました。

実施日

平成30年8月6日

調査場所

【茨城県常陸太田市】道の駅ひたちおおた
【茨城県常陸大宮市】道の駅常陸大宮かわプラザ

実施日

平成30年8月7日

調査場所

【栃木県茂木町】道の駅もてぎ
【栃木県市貝町】道の駅サシバの里いちかい

実施日

平成30年10月29日

調査場所

【国見町】道の駅国見あつかしの郷
【山形県米沢市】

道の駅米沢

調査内容

◆道の駅の運営状況について

- ①施設の概要（設置・運営、敷地、建物、特徴、事業費・財源など）
- ②開設準備体制、現在の管理・運営体制
- ③入込客の推移、収支状況
- ④物産品の確保と開発（農産物供給、加工品

（開発）

- ⑤観光案内等の情報発信
- ⑥施設運営上の課題や今後の取り組み
- ⑦施設内の見学

参加者

委員長	草野 伝明
副委員長	瀬谷 寿一
委員	根本 重泰
委員	小木 芳郎
委員	渡辺 実
委員	矢内 義将
委員	山田 英重

文教厚生 「高校の魅力化調査」

文教厚生常任委員会では、本年5月、福島県教育委員会による「県立高等学校改革基本計画」の策定、公表を受け、現在1学年2学級と「望ましい」とされる学校規模を下回っている状況にある、県立石川高校を存続させるための、自治体の効果的な取り組みにつ

て調査・研究を進めるため、同校並びに先進自治体を訪問し、「学校の現状」や「学校の課題と今後の見通し」、「県立高校存続に向けた取り組み」などについて所管事務調査を行いました。

実施日

平成30年7月24日

調査場所

県立石川高等学校

調査事項

- ① 学校の現状について
(学校経営・運営、生徒数の推移、卒業生の進路、特色ある教育の取り組みなど)
- ② 学校の課題と今後の見通しについて

実施日

平成30年10月17日

調査場所

新潟県阿賀町役場



▲新潟県阿賀町教育委員会



▲県立石川高校

調査事項

◆阿賀黎明高校存続に向けた町の取り組みについて

- ① 高校の沿革、現状と課題
- ② 高校魅力化推進事業の概要
- ③ 高校振興のための町の支援策
- ④ 高校運営に係る町の取り組み(学校運営協議会等、学校と地域の協議の場の設置状況など)
- ⑤ 今後の取り組み方針(課題への対応など)
- ⑥ 施設見学(公営塾「黎明学舎」)

実施日

平成30年10月18日

調査場所

只見町役場

調査事項

- ◆只見高校存続に向けた町の取り組みについて
- ① 高校の沿革、現状と課題
- ② 高校振興のための支援策
- ③ 高校運営に係る町の取り組み(学校運営協議会等、学校と地域の協議の場の設置状況など)
- ④ 今後の取り組み方針(課題への対応など)
- ⑤ 施設見学(奥会津学習センター)

参加者

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 増子美知夫 |
| 副委員長 | 近内 雅洋 |
| 委員 | 関根 武一 |
| 委員 | 瀬谷 京子 |
| 委員 | 永沼 一夫 |
| 委員 | 中村孝太郎 |
| 委員 | 下山田和雄 |

報告します 議会の活動

全国町村議会広報研修会

10月10日シエンバンパツハ・サボー(東京都千代田区)で開催された全国町村議会広報研修会は、東日本地区の町村議会議員約500名が参加し、朝日新聞部長の前田安正氏より「読み手に伝わる文章の書き方」や、アトダイレクターの筒井美希氏より「デザイン」の力で、もつと伝わる議会広報紙」について等を研修して参りました。

町村議会議員研修会

10月23日、郡山ユラックス熱海で県町村議会議員研修会が開催されました。

東京大学大学院法学政治学研究所教授の金井利之氏より、「地方議会の課題のあり方・活性化について」、日本大学法学部教授の岩井奉信氏より、「今後の政局・政治展望」について研修を受けました。



未来に向かつて

・ 高校生の声

学法石川高校

2年 高橋 由輝

高校生活でのチャレンジ



高橋由輝さん

行学一如。この言葉は、私が通う学法石川高校の教えの一つです。「学んだことは実践されてこそ生きる」という意味があります。私は普段、授業や学校行事を通してたくさん、の事を学んでいます。しかし、この言葉を知って、本当に大切なことは、その学んだ知識を実践することだと分かりました。

私は今、「石川まちなか再生プロジェクト」への参加に力を入れています。この活動では、町役場をはじめ多くの方々の支えを受けながら、県立石川高校生と共に、季節に合った催し物をしたり、プロジェクトの広報誌を発行したりして、石川町を元気にするためのお手伝いをさせてもらっています。

私は、このプロジェクトの一員として、行学一如の精神に基づきながら、学校で学んだことや、先輩方の活動を

を引き継いで、多くの事に挑戦していきたいと思っています。同時に、この言葉の原点となる「学」にも力を入れて、自らの思考力と行動力を高めたいです。そしてこれからも、活動を共にする仲間と一致団結しながら、普段お世話になっている石川町のために、頑張っていきます。



▶ 高校生「花まるしえ」の様子

編集後記

去る10月9日に東京砂防会館で開催された全国町村広報研修会に広報委員6名が出席し「議会広報誌」の情報構成や編集力などについて研修してきました。参加した他の町村でも、広報誌を通じて住民の皆さんに議会活動について、関心を持ってもらうための読まれる「議会広報誌」づくりに精励しております。

また、先進的な町村では公聴活動も重要視し、住民が紙面に登場することで議会活動をより身近に伝える効果を高めている町村もあり大変勉強になりました。私たち編集委員も、町民目線の「議会だより」を目指し研鑽して参ります。

増子 美知夫

議会を傍聴しませんか

12月定例会「一般質問」は**12月10日(月)**の予定です。

議会広報編集 特別委員会

委員長	根本 重泰
副委員長	瀬谷 寿一
委員	近内 雅洋
委員	小木 芳郎
委員	増子美知夫
委員	山田 英重